

超域政治文化論特講Ⅱ

選択 2単位

山崎 直也

1. 授業の概要(ねらい)

各履修者は自らの専門地域を政治的アプローチで論じた文献を選び、レジュメを作成してその概要を報告する。他の履修者の専門地域との比較によって、自らの専門地域の特徴について、より深い理解を得る。同時に、大学院生として必要とされる資料検索・収集のスキルを身につける。履修者の問題関心に応じて柔軟に内容を調整し、修士論文執筆の助けとなる授業としたい。教員は東アジアを専門とするが、それ以外の地域を専門とする学生も歓迎する。

2. 授業の到達目標

- 1) 大学図書館、公共図書館のデータベースを活用して、研究に必要な資料を収集することができる。
- 2) 日本語(ないし英語、中国語)で書かれた学術書、学術論文の内容を理解し、その論旨を日本語で表現することができる。
- 3) 学術書、学術文献を他の関連文献と結びつけ、あるいは比較することで、その学術的意義を批評的に論じることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中の態度と発言内容 30%

中間・期末発表 30%

期末レポート 40%

※今学期の期末レポートは、前期に読んだ文献を中心に、独自のリサーチを加えた論文とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

履修者の専門・関心に応じて学術書・学術論文を選択する。

5. 準備学修の内容

レジュメの作成を担当する以外の学生も、輪読で取り上げる文献を読み込んで講義に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

1. 授業は毎回出席を原則とし、理由のない遅刻は5点、同じく欠席は10点の減点とする。
2. 授業中の無用の私語、指示のないスマートフォン及び電子機器等の使用は厳禁とする。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------|
| 【第1回】 | 前期レポートの講評 |
| 【第2回】 | 講読文献の選定 |
| 【第3回】 | 文献輪読 |
| 【第4回】 | 文献輪読 |
| 【第5回】 | 文献輪読 |
| 【第6回】 | 文献輪読 |
| 【第7回】 | 文献輪読 |
| 【第8回】 | 1. 中間発表
2. 追加文献の選定 |
| 【第9回】 | 文献輪読 |
| 【第10回】 | 文献輪読 |
| 【第11回】 | 文献輪読 |
| 【第12回】 | 文献輪読 |
| 【第13回】 | 文献輪読 |
| 【第14回】 | 期末発表 |
| 【第15回】 | まとめと講評 |